

実験工房 SONY TA-N86に第2世代電源搭載

第2世代シリーズ電源モジュール、BC24A45UVer、を使い、往年の名機SONY TA-N86のSW電源部1次整流を改造、21世紀の最新テクノロジーで、世界でただ一つ、倍音再生（自然界の音）の可能なパワーAMPに変身させる実験。

AES 東京コンベンション2005で技術発表した第2世代シリーズ電源モジュールを使い古いアンプに載せかえただけで、欠落していた音声信号すべて再生され、CDをヘッドフォンで聴いたときの音がそのままSPから再生できる。

往年の名機SONY TA-N86改造記

このAMPは1980年代に開発されトランスを使わず100Vをコンデンサ・インプット回路（ブリッジ回路）で整流、SW電源でAMP負荷に供給、従って本体の厚さが薄く、音の素性も良いのでマルチAMPシステムでは重宝がられ現在でもかなりの台数が稼動している。従来のコンデンサ・インプット回路を使ったAMPでは音声信号の毎サイクル約950 μ s、欠落（時間軸で言うと600 μ sの立ち上がり遅れ）が存在する、第2世代シリーズ電源モジュール、に置き換えることで倍音再生（自然界の音）の可能な、半導体AMPに変身することが出来る。

作業内容

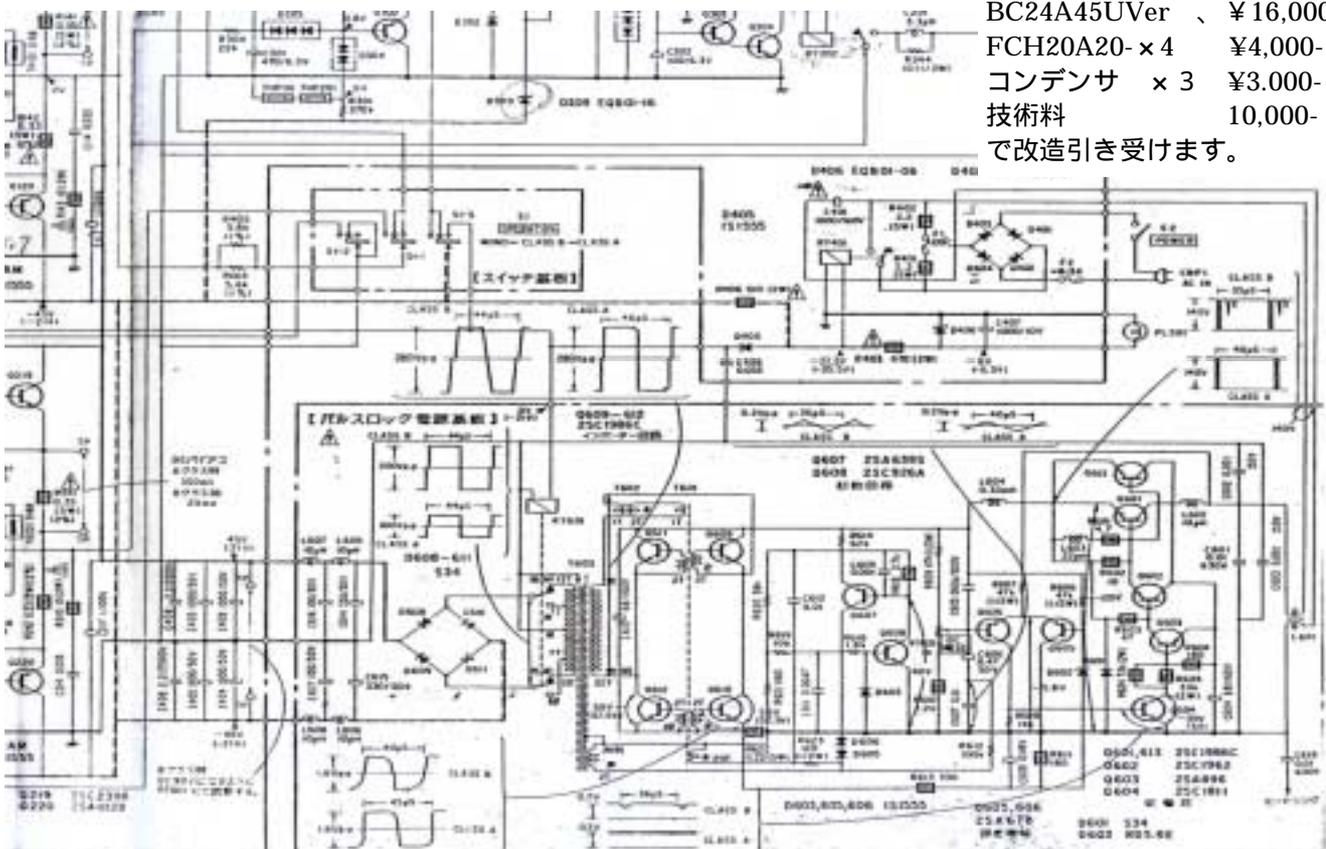
回路図内のSW電源整流回路部の前段AC100V整流回路を第2世代シリーズ電源モジュールBC24A45UVer、に置き換えC：160V 1,000 μ F \times 3を使い完璧なDC電流をSW電源部にを供給、SW電源2次整流回路部のFRD,S-34をSBD、（20A 240V選別品）FCH20A20に置き換え整流効率を上げた。

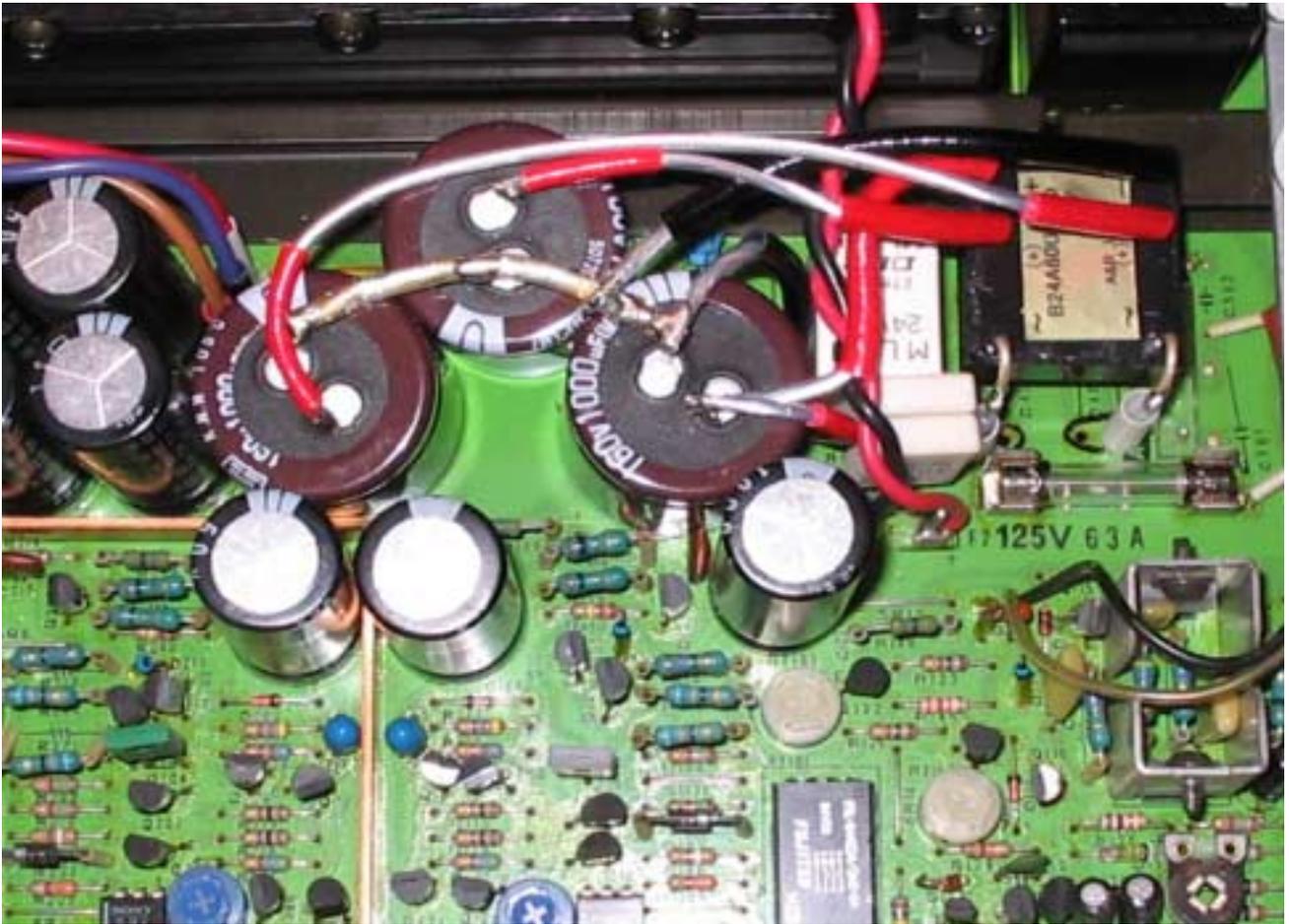
試聴

“全く凄い”の一言です、なんとと言っても飛び出した音は別世界という形容です、音像というか解像度、繊細さ全く一激変しました、予想道理ビロードのような滑らかで吸い込まれる音色、情報量が多く、低域がしまり、高域の透明感1ランクも2ランクも上がった感じ、何百万のAMPに負けない音、音は実験工房の山水の名機AU-X11、売り出し時¥27.5万に第2世代シリーズ電源にした音と区別が出来ない音になっている。

改造費

BC24A45UVer、 ¥16,000-
FCH20A20- \times 4 ¥4,000-
コンデンサ \times 3 ¥3,000-
技術料 10,000-
で改造引き受けます。





TA-N86 SW電源 1次側AC100V整流回路を 第2世代電源モジュールに置き換え C:160V 1,000 μ F \times 3からSW電源 に供給。



SW電源内部 2次整流Di FRD S 34をSBD(20A 200V) FCH20A20に変更